

第 54 回 放送番組審議会 議事録

令和 7 年 11 月 21 日（金）

株式会社有明ねっこむ

■第 54 回 放送番組審議会

- 1.開催日時 令和 7 年 11 月 21 日(金)14 時 00 分～
- 2.開催場所 株式会社有明ねっとこむ 1階会議室
- 3.出席者 委員長: 石丸 智士
副委員長: 香山真理子
委員: 松崎 義和、城戸 久信、
(欠席 2 名、出席 4 名計 6 名)
放送局: 納富 和由紀(代表取締役社長)
永江 美穂 (FMたんと局長)
中原 敬介 (FMたんと副局長)
荒木 はるか (放送番組審議会事務局)
(出席計 4 名)
- 4.議 題 審議番組: ・9/16、10/9、11/3 放送のさんせつと TANTO「たんとエッグコーナー」
・再免許交付について
- 5.議事の内容 ● 9/16、10/9、11/3 放送のさんせつと TANTO「たんとエッグコーナー」放送局から概要を説明。
【放送局】本日お届けするのは、9月16日(火)、10月9日(木)、11月13日(木)放送の「さんせつと TANTO」です。今回は「たんとエッグ」のコーナーをお送りします。ここで改めて「たんとエッグ」についてご紹介します。
「たんとエッグ」は昨年 4 月から募集を始めました。FM たんとのホームページや SNS、フリーペーパー「どがしこでん」に掲載したところ、多くのお問い合わせをいただき、今では 19 人が登録しています。
学生を「たんとエッグ」、20 歳以上の社会人を「たんとサポーター」と呼んでいます。どちらもボランティアで、それぞれの都合に合わせて生放送に出演しています。このコーナー『た～んと発信!』では、地元の話題や暮らしに役立つ情報、若者の視点で見たトレンドなど幅広いテーマをお届けしています。今回は 3 名の放送をお聞きいただきます。一人目は「たんとサポータ

一」の「つぐみん」です。つぐみんは、現役の看護師さんで、そしてサッカーチーム・アビスパ福岡の熱烈なファンでもあります。つぐみんの出演頻度は多いときは週に一度ほどです。二人目は「たんとエッグ」の「しらくん」です。しらくんは学生の頃、市内高校生が作るラジオ番組にレギュラー出演していました。そのときは思うように話せなかったそうですが、「また挑戦したい！」という気持ちで、高校卒業後に「たんとエッグ」への参加を希望してくれました。現在は社会人なので出演の回数は多くありませんが、ラジオが大好きで、時間を見つけては番組に出演してくれています。三人目は「たんとエッグ」の「ごりやま」くんです。ごりやまくんは職場体験で FM たんとにきた高校生です。ごりやまくんは、すごく積極的で意欲もあり、私どもの方から声をかけさせていただきました。それでは、どうぞお聴きください。

- 実際の音源を聴き、各委員から審議番組に関する意見、それを受けて放送局からの発言があった。内容は以下の通り。
- 【 委 員 】 たんとエッグのコーナーなので、その部分だけは、たんとエッグがメインになってしゃべっているイメージだったけど、パーソナリティ達との会話になっているのですね。
- 【 放 送 局 】 おっしゃる通りこのコーナーは「エッグ・サポーター」中心でやってもらいたいけど、やはりまだそこまで成長しておらず、どうしてもパーソナリティからフォローが入っている状態です。
- 【 委 員 】 学生だったり、社会人だったりそれぞれの個性をもっと前に出すともっと面白いかなと思います。
- 【 委 員 】 会話がラジオの前の方に向けて話している感じじゃないですよ。プロみたいに話さなくても、リスナーに向けて話することを意識して、自分なりに感じたことを伝えると良いと思います。
- 【 委 員 】 たんとサポーター、たんとエッグへの加入は誰でもいいのですか？
- 【 放 送 局 】 加入の希望連絡が来たら、必ず面接して、希望動機を聞き、局の方針や今後の方向性や目的などを説明して相違のもと加入となります。
- 【 委 員 】 将来のパーソナリティ候補というわけではないのですか？

【放送局】もちろん本人の希望があればプロの研修を受けることもできるし、機械操作の勉強も出来ること、頑張り次第でパーソナリティにもなれますよとお伝えしています。

6.報告事項

・再免許交付について

令和7年10月30日総務大臣より無線局免許の再免許を受けたことを報告。その際、九州総合通信局長より「コミュニティ放送局の再免許に当たっての要請」(九通放第25-5525-0-2号)があり、その要請を審議員に書面をもって伝えた。また当局「放送番組の編集の基準」(様式2-22(7))(免則別表第二号第1関連)について周知、説明を行った。

7.次回の会議

令和8年1月(日時は未定)

8. 審議機関の答申又は意見の概要公表

自社ホームページに掲載(令和7年12月4日掲載)